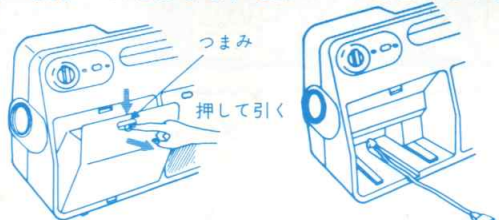


乾 燥 の 順 序

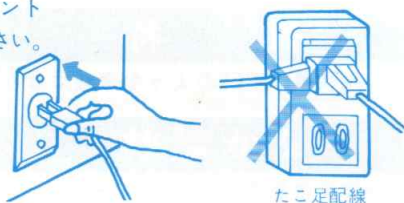
- ① 本体収納ケースのつまみを下側に押して収納ケースをはずし、電源コードを出します。



- ② タイマーつまみを「切」の位置にしておいてからプラグをコンセントに差しこみます。

■ 専用のコンセント

をご使用ください。

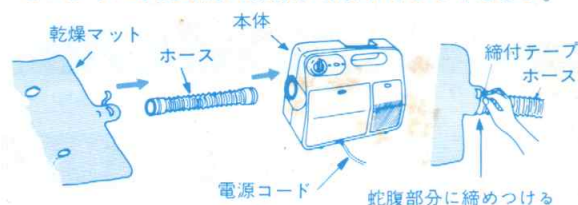


- ② 収納ケースから乾燥マットとホースを取り出し、乾燥マット→ホース→本体の順にセットします。

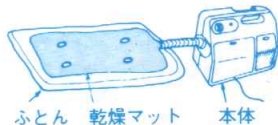
■ 乾燥マットとホースの接続は締付テープによりホースの蛇腹部分に確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと乾燥マットがはずれます。

■ ホースを本体の温風出口に確実に差しこんでください。このとき乾燥マット接続口部分がねじれないように注意してください。

■ 電源コードは収納ケースを取りつけるとき、はさみこまないように中央の溝の部分から取りだしてください。



- ③ 乾燥させたいふとんを1枚敷きます。敷いたふとんの上に、セットされた乾燥マットをのせます。



■ 乾燥マットのホース接続口は折り曲げたり、ねじれた状態で絶対に使用しないでください。本体が過熱し熱変形したり寿命をそこねます。



■ ふとんの間に暖房器具類（電気毛布、電気アンカ、湯たんぽ、豆たんアンカなど）を入れたまま使用しないでください。火災等の原因になります。

- ④ タイマーを2～3時間にセットし、切替スイッチを「温風」に合わせます。乾燥マットがふくらんだ状態を確認してから、乾燥させたいふとんを1枚のせます。

■ 季節やふとんの種類により、タイマーのセット時間は異なりますので、乾燥具合をみて変えてください。



■ タイマーを短時間に合わせるときは、いったん1時間以上までまわしてからもどしてください。

■ タイマーの時間は50Hzと60Hzの地域によりセット位置が異なりますので、表示に合わせてください。60Hzはダイヤルの外側50Hzは内側になっています。

上 手 な 乾 燥 の し か た

■ ふとんの乾燥は上・下で差があります。上のふとんと下のふとんを同じように乾燥させるには1時間程度で上と下のふとんを入れ替えますと上、下のふとんの乾燥が同じようにできます。また、せまい部屋で使用するときは部屋の換気をよくしてください。



■ 夏季やすみ前に乾燥したときには、ふとんがあたたまっているので、切替スイッチを「冷風」にしてふとんを冷やしてください。



■ 冬季やすみ前に乾燥しますと、ボカボカふとんで快適におやすみになれます。

■ 乾燥マットがふとんからはみ出さないようにしてください。また乾燥マットのファスナーは完全に閉めておいてください。温風がもれ乾燥性能が低下します。



■ ふとんを乾燥し、乾燥マットを取り出すとき、静電気を感ずることがありますので、ふとんは静かにめくってください。なお、これは乾燥マットに生じる静電気ですので、ご心配いりません。

